

2025 年 4 月 18 日

SUBARU 新型「アウトバック」を世界初公開

～大胆なエクステリアデザインを採用した SUBARU のフラッグシップクロスオーバーSUV～

SUBARU は、米国ニューヨークにて開催中の 2025 ニューヨーク国際オートショーにおいて、新型「アウトバック」を世界初公開しました(米国仕様車)。



新型アウトバック「Touring XT」(米国仕様)

1995 年の初代発売以来、乗用車と SUV の長所を融合させたクロスオーバーSUV としてその歴史を積み重ねてきたアウトバックは、今年で 30 周年を迎え、今回のフルモデルチェンジで 7 代目となります。歴代モデルを通じ、どこまでも走り続けたいような安心感と快適性、荷物を効率的に積める積載性、質感の高い内装といった、クルマとしての本質的価値を磨き続けることで、乗る人の生活をさらに豊かなものにするパートナーとして信頼を築き上げ、SUBARU のフラッグシップクロスオーバーSUV として、唯一無二のキャラクターを確立してきました。

新型「アウトバック」は、お客さまの様々な嗜好やライフスタイルに寄り添いながらも、自然と共生する「アドベンチャー」要素を盛り込み、走行性能を磨き上げるとともに、デザイン、実用性、エンターテインメントを中心に大幅に商品を進化させました。

エクステリアは、これまで以上に冒険心をかきたてる SUV らしいプロポーションとし、従来よりも高い車高と力強くたくましいデザインにより、街中や自然の中でも埋もれない存在感を表現しました。インテリアは、機能的でありながらリビングライクな室内空間を想起させるデザインを採用。配色や素材で各グレードの差別化を図りました。

エンターテインメントは、次世代の 12.1 インチセンターインフォメーションディスプレイと、12.3 インチのフル液晶メーターを採用し、より高い反応性、使いやすさ、カスタマイズ性を実現する高性能プロセッサを搭載しました。

実用性では、スクエアな開口形状により積載性に優れ、容量を確保した荷室空間を実現。また、高強度のラダー式ルーフレールを採用することで、様々なアウトドアシーンに対応できる機能性とデザイン性を両立させました。

安全装備では、アイサイトと広角単眼カメラに加え、新たに前側方レーダーを組み合わせることで、センシング性能を大幅に向上させました。また車線中央維持制御・先行車追従操舵制御の作動中、システムがドライバーに異常があると判断すると、ドライバーに注意・警告を実施し、後続車や周囲の車両へドライバーの異常を知らせながら車線内で停車するドライバー異常時対応システムを設定しました。

さらに高度運転支援システムとして、アクティブレーンチェンジアシストや渋滞時発進アシスト、全車速ハンズオフアシスト等の機能を新たに採用しました。

動的性能では、パワーユニットに、改良された水平対向 2.5L 直噴 NA エンジンと、2.4L 直噴ターボエンジンを採用。また、全グレードに、改良型 X-MODE を搭載。ステアリングは、2 ピニオン式電動パワーステアリングを採用することで、よりダイレクトで自然なステアリングフィールと優れた応答性を実現しました。



新型アウトバック「Wilderness」（米国仕様）

あらゆる面で進化を遂げた新型アウトバックは、アクティブなライフスタイルを支えるパートナーとして、乗る人に「安心と楽しさ」をお届けします。

新型「アウトバック」は、米国市場では「Premium（プレミアム）」、「Limited（リミテッド）」、「Touring（ツーリング）」、「Limited XT」、「Touring XT」、「Wilderness（ウィルダネス）」の6グレードを設定し、2026年以降の導入を予定しています。